

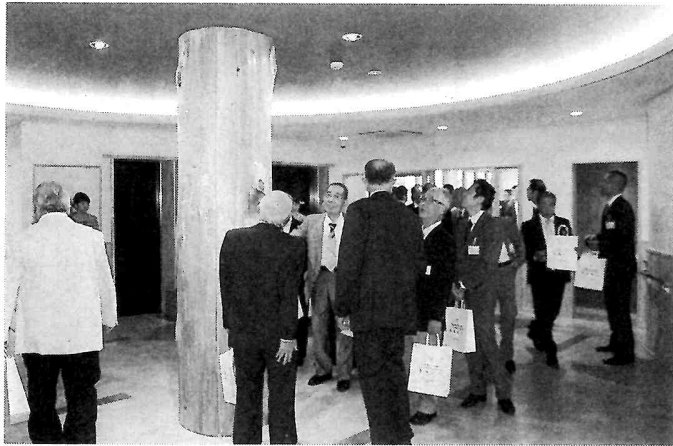
栗山会

医療、福祉、交流の拠点に

「ウエルネスタウン」落成式

飯田市大通の社会医療法人栗山会(千葉恭理事長)が、同市仲ノ町の旧喜久水酒造跡地に整備を進めてきた、地域包括ケア複合施設「ウエルネスタウン丘の上」の竣工式と落成式典が15日、同所で開かれた。落成式で千葉理事長は、関係者ら約100人を前に、「歴史や趣のある街並みなどの財産を生かした素晴らしい環境で、質の高い施設ができたことは、皆様の支援の賜物」と感謝。さらに「地域の医療、福祉、介

護、交流の拠点として期待に込められるよう、一層努力していく」と力を込めた。



施設内を見学する出席者ら

た。ウエルネスタウン丘の上は、居室全36室のサービス付き高齢者向け住宅に、診療所(診療科目:内科・リハビリテーション科)、通所リハビリテーション、訪問看護ステーション、介護ステーション、訪問介護ステーション、メディカルフィットネスなどが加わった複合施設。鉄骨造3階建てで、延床面積は2830平方メートル。設計・監理をアイキディアック(松本市)が手掛け、吉川建設(飯田市松尾町)が施工した。

内外装材には地元産材である根羽スギ、根羽ヒノキをふんだんに使用。室内の湿度変化の緩和、快適性を高めるとともに、木材の持つやわらかさ、温かみで、落ち着ける空間を創出。地元産材の活用により、地域内の経済循環、持続可能な地域づくりに寄与する狙いもある。

さらに、施設の屋根には太陽光発電パネルを載せ、その収益を地元のまちづくりに還元する。また、敷地内には芝生広場や蔵のカフェレストランなどが併設され、入居者および地域住民らの他世代交流の場として活用。人口減少、高齢化が進む飯田中心市街地の、在宅医療、在宅介護の拠点として、まちづくりの核として、地域の期待は大きい。